

大阪狭山市下水道事業経営審議会（第9回） 議事録

会議名称	大阪狭山市下水道事業経営審議会（第9回）
開催日時	令和6年6月28日（金）10：30～11：30
開催場所	大阪狭山市役所3階 協議会室
出席委員	<p>【会長】佐藤 雅代委員 【副会長】栗田 貴宣委員 山村 歳幸委員 北 眞佐子委員 北舎 和彦委員 奥田 善朗委員</p>
欠席委員	なし
傍聴者人数	0人
事務局	水政策部長、経営総務グループ課長、下水道・水路グループ課長、下水道・水路グループ参事、経営総務グループ主査、経営総務グループ主任、経営総務グループ主事補
主な議事	大阪狭山市下水道事業経営審議会答申の確認について
配布資料	<p>資料1 前回の審議会でいただいた大阪狭山市下水道事業経営審議会答申（案）に対する意見一覧表 資料2 【見え消し版】大阪狭山市下水道事業経営審議会答申 資料3 大阪狭山市下水道事業 経営戦略 資料4 大阪狭山市下水道事業 経営戦略【概要版】 資料5 用語集</p>

議事経過	<p>1. 大阪狭山市下水道事業経営審議会答申の確認について</p>
【会長】	<p>第9回 大阪狭山市下水道事業経営審議会を始めます。答申に関しては最後となります。本日のスケジュールに従い、大阪狭山市下水道事業経営審議会答申の確認について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>○事務局が資料1（前回の審議会でもいただいた大阪狭山市下水道事業経営審議会答申（案）に対する意見一覧表）及び資料2（【見え消し版】大阪狭山市下水道事業経営審議会答申）に基づき説明</p> <p>○資料1（前回の審議会でもいただいた大阪狭山市下水道事業経営審議会答申（案）に対する意見一覧表）及び資料2（【見え消し版】大阪狭山市下水道事業経営審議会答申）に関する質疑応答</p>
【会長】	<p>事務局から説明いただいた内容について、質問や意見、今後に向けて提言等、ございましたらよろしく申し上げます。</p> <p>まずは、私からスケジュールについて意見を申し上げます。</p> <p>答申の内容として経営戦略を評価した上で更新をする形となっております。</p> <p>しかし、経営戦略の完成と同じタイミングもしくは、それより前に答申案を検討することになりました。その結果、答申案についてどのように審議・検討すべきか戸惑う部分がありました。予算や決算の数値が固まらず、経営戦略の完成が遅れてしまう部分は理解しておりますが、経営戦略がまとまった段階で答申案について審議するほうがよかったのではないかと考えております。次回、同様のことがある際に、特に外部の方の意見を聴取したい場合は、慎重な準備と配慮が必要になると考えます。</p>
【事務局】	<p>いただきましたご意見について次の機会に反映できるように対応して参ります。</p>
【委員】	<p>スケジュールについては、私も会長と同様に感じております。</p> <p>経営戦略は、今後どのように活用されていくのでしょうか。どのような形で市民に行き届くのでしょうか。</p>

【事務局】	経営戦略は当市のホームページに公表することで、市民の皆様へ周知をしております。その中で、市民の皆様からいただいた意見を、次の経営戦略の改定の際に反映して参りたいと考えています。
【委員】	経営戦略の冊子についてはどのように活用されるのでしょうか。全戸に配布されるのでしょうか。
【事務局】	経営戦略は当市のホームページに公表しており、全戸配布は考えておりません。改定した経営戦略に基づき今後の事業計画を進めて参ります。
【委員】	経営戦略を改定しただけでは市民の理解は進まないと思います。市民の皆様へ説明会や講座を開催する等、検討されてはいかがでしょうか。
【事務局】	平成 25 年頃から市民の皆様を対象にした勉強会があり、勉強会の 1 つのメニューとして、下水道に関する講座がありました。しかし、新型コロナウイルス等の影響で、勉強会のメニューから下水道が抜けておりますので、必要に応じて説明する機会を設けて参りたいと考えております。
【会長】	経営戦略は、専門的で市民の皆様が理解するのは難しいと思います。情報発信や活用方法についてもご検討いただければと思います。
【委員】	経営戦略は改定して終わりではございません。今回の経営戦略でロードマップを示されています。定量的目標に対する進捗管理が重要と考えます。
【会長】	経営戦略を改定した以上、評価が必要になり、見える化や数値化を意識しなければなりません。
【委員】	市ホームページで公表されている経営戦略は、アクセス数を確認することはできるのでしょうか。
【事務局】	市全体のホームページへのアクセス数は確認できますが、経営戦略へのアクセスをカウントできるかについては確認いたします。

【会長】	経営戦略は専門的ですので、用語集へのアクセス数と共にカウントできれば有用と考えます。
【委員】	経営戦略も下水道事業も市民の方々には難しいので、先ほどの話にもありましたが講座等により分かりやすく説明いただく機会を設けてもらいたいと考えます。
【委員】	大阪狭山市の経営状況がこれからどう変わっていくのか楽しみです。
【会長】	では、大阪狭山市下水道事業経営審議会答申の確認について審議致しましたが、答申に関して確定させていただいてよろしいでしょうか。
【委員一同】	同意
【会長】	<p>それでは、私どもから市長へ答申を手交させていただきたいと思いません。</p> <p>○市長入室</p>
【事務局】	それでは、只今より大阪狭山市下水道事業経営審議会の答申の手交式を行います。まず、初めに当審議会の会長よりご挨拶をいただきます。
【会長】	<p>大阪狭山市下水道事業経営審議会では、一昨年8月に市長より、持続可能な大阪狭山市公共下水道事業の運営及び経営状況についての諮問があり、本日を含め9回の審議を行って参りました。</p> <p>これまでの大阪狭山市の下水道事業の歩み、現在の状況及び将来に予想される事象について、実際に現地に出向いたり、説明を受けたり、勉強することで情報収集し、検証し、議論して参りました。そのような中で、令和6年3月に大阪狭山市下水道事業経営戦略を取りまとめ、その経営戦略も踏まえて、私どもの答申を作るべく審議を重ねてきたところでございます。</p> <p>答申に関して、大きく3つお話をさせていただきます。</p> <p>1つ目が、収入が減少する一方で維持管理費等の支出が増加しており、今後の経営状況が厳しいという点です。</p>

2つ目が、今後の経営改善に向けた取り組みについて、いくつか記載しております。今回の答申や経営戦略及び下水道事業そのものについて、よりわかりやすく市民の皆様理解いただくことが重要なことを強調させていただきたい。

そして、下水道使用料の適正なあり方の検討について、今後の経営改善に向けた取り組みの中で記載させていただいております。

そして、3つ目が下水道使用料の改定についてという点でございます。経営戦略においても、経営状況、運営状況が厳しい状況の中で、下水道使用料の改定について検討が必要な点について言及されており、答申にも記載させていただきました。

ここまで厳しい議論を重ねて参りました。答申をまとめることができたことに対して事務局の努力に感謝するとともに、審議委員の皆様にも感謝申し上げます。

会長として、反省点を2点申し上げます。

1点目が、経営戦略について検討する中で、当審議会で経営戦略の肝である投資・財政計画について、具体的な検討がほぼ出来なかったという点です。

2点目が情報発信についてです。当審議会の傍聴者がゼロだったことについて、市民の方々に関心を持っていただけるような情報発信をできなかった点です。

ただ9回にわたる審議会において、委員の皆様には立場の垣根を越えて真摯に議論に加わっていただきました。震災の状況を含めその折々に必要な情報を詳細に審議し、重要な情報をこの場で共有して参りました。

長くなりましたが、誠実に準備をいただいた事務局の皆様には心から感謝いたしますし、改めて皆様にも感謝申し上げます。

以上をもちまして挨拶に代えさせていただきます。

○会長から市長へ答申の手交

【市長】

ただいま会長より答申をいただきました。先ほど会長のお話にもございましたが、一昨年8月に皆様方に大阪狭山市公共下水道の現状に顧み、経営と運営について諮問をさせていただき、本日も入れて9回にわたり慎重なるご審議をいただきました。先ほど会長から審議経過

内容について皆様方からのご意見をいただきながら、今日のこの日を迎えることができましたこと、会長はじめ、委員の皆様方に心から厚く御礼申し上げます。

本日、皆様からいただきました答申に基づき、健全な経営体制を作って参りたいと思っております。本日はゴールではなくスタートです。先ほど会長より一定不十分なところがあるというお言葉がございましたが、健全な経営体制になるためのご指摘と受けとめております。しっかりとそのご指摘を踏まえた上で、形にして実行していくことが何より重要だと思っておりますので、皆様方からいただいたご指摘を真摯に受けとめて、進めて参りたいと思っております。

そして、震災のことについても審議いただいたと伺っております。石川県の能登半島地震では、いまだに様々な課題が残っております。一時期、上水は一定復旧のめどが立ったものの下水の整備が整わないために、上水も使えないといった話題がありました。上下水それぞれの役割がある中で、両方がバランスよく機能してこそ、大阪狭山市全体として健全な体制が整うものだと思っております。

先ほどおっしゃっていただいた、経営戦略の目的を果たすためにも、外部の皆様方のようなお立場の方から、大阪狭山市の今の状態を診断していただくことは、何よりも重要と思っておりますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

先ほどから申し上げておりますが、本日答申をいただきましたのは、ゴールではございません。これからがスタートでございます。このスタートを機に、先ほどご指摘いただいた市民にわかりやすい情報を提供していくことは、今後の経営戦略を立てる意味でも非常に重要と思っております。その点、しっかり肝に命じて、市として適切に対応して参りたいと思っておりますので、そこを約束いたしまして、これまでの皆様方の様々なご苦勞に対し、心から感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

ありがとうございました。

○事務局より閉会の挨拶